

日本木材学会生物劣化研究会 2023 年秋季研究会（講演会）のご案内

主催：（一社）日本木材学会 生物劣化研究会

協賛：（公社）日本木材保存協会

日時：2023 年 12 月 12 日（火）13：00～15：10

会場：オンライン開催（Zoom）

テーマ：「自然界での木材分解～枯死木が育む生態系と土壌～」

木材腐朽菌は住環境を脅かす有害生物として認識されているが、森林生態系においては枯死木を分解することで物質循環に重要な役割を果たす不可欠な生物である。秋季生物劣化研究会では世界の森を飛び回り、別々の視点から枯木の分解を見てこられた 2 名の講師を迎え、枯死木で営まれる生き物たちの暮らしと、その結果生み出される土壌についてのご講演をいただく。

プログラム：

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～14:00 「菌類による枯木の分解と森林の生物多様性・炭素貯留」

深澤 遊 氏（東北大学大学院 農学研究科）

14:00～14:55 「木材腐朽と物質生産をつなぐ土壌」

藤井 一至 氏（森林総合研究所）

14:55～15:05 全体質疑

15:05～15:10 閉会挨拶・事務連絡

参加費：無償

定員：300 名（先着順で定員に達した時点で参加申込を締め切らせて頂きます）

参加申込：申込フォーム (<https://forms.gle/sRD4fb28UAK34YUK7>) にて、氏名、所属、連絡先をお知らせください。申込フォームを通した申込みができない場合は、下記のお問合せ先まで氏名、所属、連絡先をお知らせ下さい。

* お送り頂いた個人情報は適切に管理し、本講演会の案内に限って使用させていただきます。

* お問合せ先：梅澤 究（近畿大学農学部） e-mail：umezawa@nara.kindai.ac.jp、

松村 賢太（片山化学工業研究所） e-mail：kenta.matsumura@katayama-chem.co.jp

講師紹介：

深澤 遊

東北大学大学院農学研究科 准教授。枯木を訪ねて世界中の森をめぐり、森林生態系での枯死木の分解を行う菌類群集を中心に、生態学の研究をしている。日本生態学会宮地賞、日本菌学会奨励賞、日本森林学会奨励賞受賞。著書に『枯木ワンダーランド 枯死木がつなぐ虫・菌・動物と森林生態系』（築地書館）、『キノコとカビの生態学 枯れ木の中は戦国時代』（共立出版）など。

藤井 一至

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所主任研究員。インドネシア・タイの熱帯雨林からカナダ極北の永久凍土、さらに日本各地へと飛び回り、土と地球の成り立ちや持続的な利用方法を研究している。第1回日本生態学会奨励賞、第33回日本土壌肥料学会奨励賞、第15回日本農学進歩賞受賞。著書に『大地の五億年 せめぎ合う土と生き物たち』（山と溪谷社）、『土 地球最後のナゾ 100億人を養う土壌を求めて』（光文社）など。